「ガバナー補佐要覧」
2011-12年度未来の夢に関する補遺

未来の夢試験（パイロット）地区

2010年版「ガバナー補佐要覧」に加えられる以下の変更は、2010年7月1日から2013年6月30日まで実施されるロータリー財団未来の夢試験段階（パイロット）に参加する地区に適用されるものです。試験段階の終了後には、全ロータリー地区に未来の夢計画が導入されます。

試験地区は、未来の夢計画の下、ロータリー財団に関して新たな責務を担うことになります。これには、ロータリー財団の補助金資金を受け取り、管理するために必要な資格を満たすこと、また、クラブが参加資格を満たす手続きを監督することが含まれます。クラブがロータリー財団の補助金を受け取り、地区を通じて補助金を申請するには、参加資格を満たす必要があります。クラブを援助するにあたり、次の情報を参考としてください。

未来の夢：ロータリー財団の新しい補助金構成

未来の夢計画は以下を目的としています。

- 財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化すること。
- 測定可能な結果を伴う、持続可能な活動を支援すること。
- ロータリアンが関心を寄せている世界の優先的ニーズに取り組むことによって、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること。
- 世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供すること。
- 意思決定権をさらに地区に移行することによって、地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること。
- ロータリー財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること。

最新情報とニュースが、随時www.rotary.org/ja/fvdistrictに掲載されます。

シェアおよびDDF（地区財団活動資金）

シェア・システムにより、ロータリー財団の資金が世界中に配分されると同時に、新地区補助金、グローバル補助金、ポリオ・プラス、ロータリー平和センターなど、地区が資金配分を決定することが可能となります。

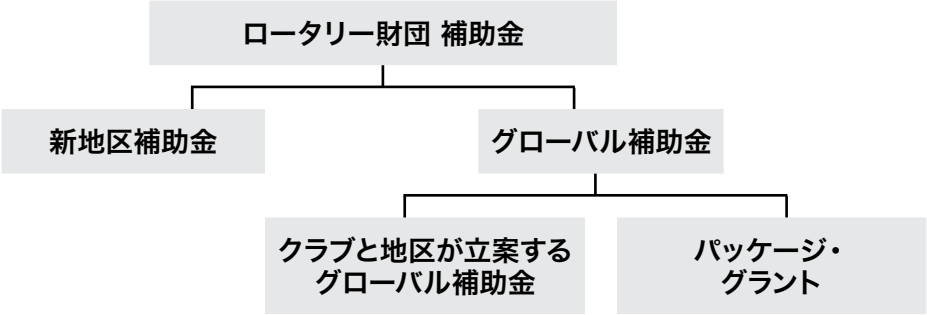
ロータリー年度末に、各ロータリー地区の年次プログラム基金への寄付は、次の2つの基金に分けられます。

- 50パーセントがWF（国際財団活動資金）へ
- 50パーセントがDDF（地区財団活動資金）へ

財団は、WFをさらに維持可能なプロジェクトまたは6つの重点分野のいずれかを支援する補助金のために使用します。地区は、DDFを、新地区補助金またはグローバル補助金への参加を通じて使用します。

補助金の構成

新しい補助金構成の下、財団は、「新地区補助金」と「グローバル補助金」の2種類の補助金を提供します。また、グローバル補助金には、地区が立案するプロジェクトへの補助金と、パッケージ・グラントの2つのオプションがあります。



新地区補助金は、クラブと地区が、ロータリー財団の使命に沿った特定の奉仕分野で、地元や海外の地域社会の緊要なニーズに取り組むことを可能にします。地区は、DDF（地区財団活動資金）の最高50パーセントまでを、この補助金に充てることができますが、ポリオ・プラスの支援や、より規模の大きいグローバル補助金への参加にDDFを使うため、新地区補助金を50パーセントよりも少なくすることもできます。新地区補助金の管理は地区が責任を持って行います。新地区補助金の詳細はウェブサイトをご覧ください。

グローバル補助金は、財団からの大きな支援の下、より長期的な視点から持続可能な活動に参加する機会を提供するものです。この補助金は、財団の使命に関連する6つの重点分野のいずれかにおいて、多大な影響をもたらす持続可能で大規模なプロジェクトに資金を提供します。

- 平和と紛争予防／紛争解決
- 疾病予防と治療
- 水と衛生設備
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 経済と地域社会の発展

クラブと地区は、重点分野の範囲内で独自のグローバル補助金プロジェクトを立ち上げることができます。また、協力組織と合同でロータリー財団が立案した長期的なプロジェクトを支援するためにパッケージグラントを利用することもできます。

クラブまたは地区が立案したグローバル補助金では、予算が少なくとも30,000米ドルのプロジェクトに対し、WF（国際財団活動資金）から最低15,000米ドルが授与されます。DDF（地区財団活動資金）に対しては100パーセント、現金拠出に対しては50パーセントが、WFから組み合わせて支給されます。グローバル補助金は、2つのクラブまたは地区（実施国協同提唱者と、実施国外の援助国協同提唱者）が提唱したものでなければなりません。実施国、援助国の双方の提唱者は、未来の夢計画の試験地区（または試験地区内のクラブ）である必要があります。

グローバル補助金の申請書を提出する前に、提唱者であるロータリアンは、活動内容と期待される成果を記述した提案書を、ロータリー財団に提出する必要があります。提案書が承認された後、クラブまたは地区は、6カ月以内にオンラインで申請書を提出することとなります。財団に提出する前に、地区ロータリー財団委員長が申請書を承認する必要があります。

パッケージ・グラントとは、財団とその協力組織が立案するものです。この場合、WF（国際財団活動資金）と協力組織からの資金によって100パーセント資金が調達され、ロータリアンが補助金プロジェクトの実施にあたります。パッケージ・グラントの選択肢は、利用が可能になり次第、会員アクセスに掲載されることになっています。

グローバル補助金の全申請書は、年度を通じ、随時ロータリー財団で受け付けています。ロータリー財団の補助金に関する詳細は、「新地区補助金とグローバル補助金の授与と受諾の条件」をご参照ください。

参加資格と資金管理

ロータリー財団の補助金を使って活動をするにはまず、試験地区がオンラインの資格認定手続きを行い、「地区の覚書（MOU）」に記載された財務と資金管理の方針に従って、要件を実行することに同意しなければなりません。地区の覚書の記載事項を実行することによって、ロータリー財団の補助金資金を適切に管理する準備を整えることができます。

クラブがグローバル補助金を申請するには、まず受領資格を満たす必要があります。地区の資格認定手続きの一環として、地区は、クラブに受領資格を与えるために補助金管理セミナーを開催することに同意しました。補助金管理セミナーは、補助金を効果的に管理し、資金を適切に監督する上で必要な知識と情報をクラブ会員に提供するための研修であり、このセミナーでは、「補助金管理セミナー指導者用手引き」と「補助金管理の手引き」が使用されます。この研修に加え、クラブ会長とクラブ会長エレクトは、「クラブの覚書」を実行することに同意し、署名をする必要があります。

資格認定に関するこのほかの情報はwww.rotary.org/ja/fvdistrictをご参照ください。

リソース

RIウェブサイト

RIのウェブサイト（www.rotary.org）には、未来の夢計画の最新情報が掲載されています。最新情報の受信を希望する方は、月刊「未来の夢試験段階のニュースレター」の定期受信にお申し込みください（www.rotary.org/ja/members/runningadistrict/futurevisionpilotprogram/pages/futurevisionnewsletter.aspx）。ガバナー補佐としての任務を遂行する上で、次のリソースが大いに役立ちます。

- 「クラブ役員キット」未来の夢に関する補遺：未来の夢計画による各要覧や手引きへの変更を概説しています。
- 「クラブ会長要覧」未来の夢に関する補遺：ロータリー財団に関する第6章が全面的に改訂されました。
- 「クラブ・ロータリー財団委員会の手引き」未来の夢に関する補遺：本出版物は、未来の夢試験段階に関連する委員会の新しい責務を反映し、全面的に改訂されました。

ロータリアン

- 地区ロータリー財団委員会：地区における財団面のすべての活動を監督する責務を担います。
- ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）とRRFC補佐：ロータリー財団全般に関して、地区とクラブを援助するために任命されたロータリアン。

お問い合わせ

- 未来の夢に関するお問い合わせ：futurevision@rotary.org
- 資格手続きに関するお問い合わせ：fvqualification@rotary.org
- ロータリー財団全般のお問い合わせ：日本事務局財団室（日本語）またはcontact.center@rotary.org（英語のみ）

補遺資料4：効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標（32〜33ページ）